



防災

『避難場所』と『避難所』を再確認しましょう

問い合わせ
危機対策係

●内容／避難する場所には『避難場所』と『避難所』があり、それぞれ使用する目的が異なります。災害時に自分や家族の命を守るため、近くの避難場所・避難所を再確認しておきましょう。

▽避難場所／災害が発生したとき、または発生する恐れがあるときに、災害から命を守るために緊急的・一時的に避難する場所です。災害の種類によって避難できる場所が異なり、地震や津波、洪水など、それぞれの災害に対応した避難場所を指定しています。

また、建物ではなく屋外が避難場所になっている場合もあります。

▽避難所／避難場所に一時的に避難した後、災害によって自宅が被災して帰宅が困難になった人などが、中長期的に生活するための場所です。避難所は、津波の浸水想定区域内にある場合もあります。津波発生時には避難所ではなく、津波に対応した避難場所への避難が必要です。

避難場所・避難所は、町ホームページやハザードマップで確認できます。



避難場所の
一覧は
こちらから



避難所の
一覧は
こちらから

暮らし

IP告知情報を確認できるアプリについて

問い合わせ
防災情報係

●内容／IP告知情報端末で配信されたお知らせや防災情報などを、スマートフォンでいつでも確認できる地域情報アプリ『JCSmart』を提供しています。

アプリをダウンロードし、『厚岸町の地域情報』を選択すると、お知らせや防災情報などを確認できます。



iPhoneを
お使いの人は
こちら



Androidを
お使いの人は
こちら

また、避難所・避難場所の情報や経路も確認でき、

災害時には防災アプリとしても活用できますので、ぜひご利用ください。

給水装置・貯水槽 水道は適切な管理を

問い合わせ
水道施設係

●内容／水道の本管から分岐する分岐管と給水管、それに直結している受水槽、蛇口、止水栓、湯沸器などの『給水装置』は、設置した人が管理することになっています。また、水道水をいったん受水槽に貯めて利用する『貯水槽水道』については、水道法により定期的な清掃や水質検査などが必要となります。

安全・安心な水が使用できるよう、適切に管理し、次のことに気を付けましょう。

▽冬期間に長期間外出をするときは、水抜きをして元栓を落とすなどの凍結対策を心掛けましょう。

▽漏水や凍結した場合は、厚岸町指定の給水装置工事業者に修理を依頼しましょう。

生ごみを出す際の 注意事項について

問い合わせ
廃棄物衛生係

●内容／生ごみを資源として有効活用するため、水切り容器（白いバケツ）で生ごみの分別収集を行っています。収集した生ごみは堆肥化して再利用していますので、次のことに注意して正しく分別してください。

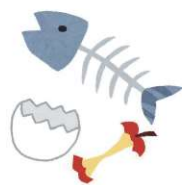
▽貝殻、動物の骨、トウモロコシの

芯、ティーバッグ、ラップ、アルミホイル、つまようじ、割り箸など、生ごみではないものは入れないでください。

▽植物由来の水切りネットや袋は、分解されるまでに時間がかかり、プラスチック製のものと区別がつかないため、生ごみと一緒に入れないでください。

▽刈草や花を出すときは、土をしっかりと落とし、ダンボールに入れたり、ひもで縛ったりせず、生ごみ容器に入れて出してください。容器に入らない場合は、ふた付きの容器や袋に入れて出してください。

8月はレッドカードを2枚使用しました。分別表をよく確認し、正しい分別で生ごみを出しましょう。



入浴送迎バスを 利用できます

問い合わせ
廃棄物衛生係

●内容／公衆浴場がない湖南地区市街地（湾月・有明・若竹・松葉・梅香・奔渡）に住んでいて、自宅に使用可能な入浴設備がなく、自家用車で喜楽湯へ行くことができない人は、無料の送迎バスを利用できます。利用には申請が必要です。詳しくはお問い合わせください。